

学校地理教育小委員会（第24期、第3回）

12月2日（日） 於：日本学術会議6-C会議室 13:45～15:00

出席者：井田（委員長）、秋本（副委員長）、青柳、浅川、池、碓井、高木、竹内、須原、今野（幹事・記録）泉（Skype参加）

1. 前回の議事録・議事要旨の確認

2. 「地理総合」の理解を深めるための研修会などについての情報交換

○国土地理院と連携した地理教育支援活動について

北海道高等学校教育研究会地理部会の事例などに基づき、教育委員会や教科研究会への広報の仕方について意見交換を行った。

○教材素材集について

書籍化や頒布方法について検討した。

○その他研修、研修依頼・実施情報は一元化

10/13 明治大学公開講座、9/25 群馬県、8/16 青森県などで実施したことが報告された。

10/9 西三河、11/6 岐阜県で研修のとの受講者の感想などから今後の研修で重点を置くべきポイントを考慮する必要があることが確認された。

○「地理総合」の実践に関する書籍化が必要であることが指摘され、今後検討していくことになった。

3. 2022年以降の高校カリキュラムについて

○「地理総合」を1年次で！「地理探究」を2・3年次で開講が望ましいことが確認された。

4. 教職大学院についての情報交換

○大学院入試が始まった。現状は修士課程と教職大学院の並列配置している大学もある。

今後の教職大学院の動向について意見交換された。

5. 小学校からの関連について

小学校と中学校との溝が大きい。小学校では社会科としてとらえている。高校教員に中学校での指導にどのように目を向けさせるかおよび中学校教員に高校を見据えての指導をしてもらうことによる広報が必要であることが確認された。

6. その他

○3月日本地理学会春季大会

地理教育公開講座と日本学術会議・地理教育専門委員会での「地理総合」研修会との関連について意見交換された。学術会議としての「地理総合」の公開講座では、学校地理教育小委員会としては、青柳委員と須原委員が登壇することになった。

○JPGU（地球惑星科学連合大会）2019年5月開催について

シンポジウムの登壇者について意見交換がなされた。